

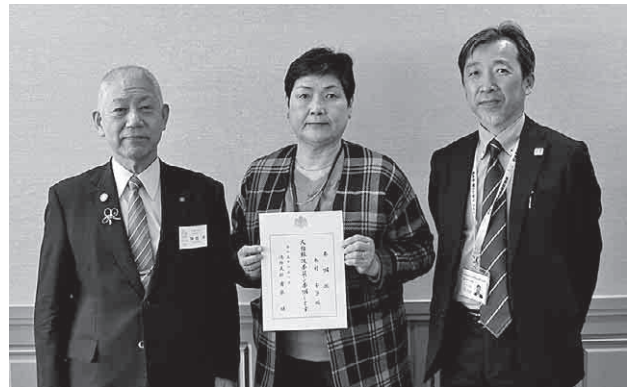


## 令和4年秋の叙勲 鳴海昇さんが瑞宝双光章受賞

1月17日、はいから倶楽部で瑞宝双光章を受賞された鳴海昇さんの叙勲伝達式が行われました。

鳴海さんは、長年にわたり小坂町職員として、住民福祉の充実に努め、社会資本の飛躍的整備に多大な貢献をされました。

また、小坂町収入役として、事業の円滑な遂行と財政基盤の構築に尽力され、その功績が高く評価されたことにより今回の受賞となりました。



## 法務大臣委嘱状交付式 木村安子さんが人権擁護委員再任

人権擁護委員として活動されている木村安子さんが1月1日付けで法務大臣より再委嘱され、1月17日に役場で委嘱状交付式が行われました。

当日は、佐々木直人秋田地方方法務局大館支局長から委嘱状が手渡されました。

木村さんは、今回の再任で4期目となり、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動に今後も尽力されます。人権擁護委員の任期は3年で、今回再任された木村さんの任期は令和5年1月1日から令和7年12月31日までです。



## 小坂町SOSの受け方研修会 生きづらさの理解と自殺予防

1月12日、子どもに関わる教職員、民生児童委員等を対象にSOSの受け方研修会を開催しました。

秋田県立医療療育センター臨床心理士・公認心理師の荒川祐介先生より、生きづらさの理解と自殺予防について、「子どものSOSとは何か」や「生きづらさはどんなところから感じたり起きたりするのかなど、資料やワークから参加者は学んでいました。「子どもにとって何がSOSの要因になるか分かった」「自殺や障がいへの向き合い方、人の個性について考えさせられた」「子どもたちへの声のかけ方や対応の参考になった」などたくさんの感想が寄せられ、子どもの支援と自殺予防について学びを深める機会になりました。



## 子どもクラブSkip「新春もちつき大会」 みんなでおいしいお餅をつきました

1月13日、セパームで子どもクラブSkip主催の「新春もちつき大会」が開催されました。これは子どもたちの健やかな成長を願って毎年行っているもので、もち米は砂子沢の木村了さんから無償で提供していただいています。

3つの臼と杵を使って約50人の児童が地域の大人と一緒に昔ながらのもちつきに挑戦。「よいしょ！」「それ！」と大きなかけ声にあわせて、重い杵をがんばって振るい、自分たちの力で餅ができていく様子に目を輝かせていました。

最後に、つくたての餅を自分たちでちぎり、好きな味付けをしておいしく食べていました。